

# ほほえみ通信 Vol 161

2023/6/30  
発行

## 第161回 ほほえみ 開催

6月21日（水）第161回 ほほえみを開催しました。

今回は6名の方が参加してくれました。

参加に際しましては、感染予防対策のため手指消毒・検温・連絡先の確認（感染予防にのみ使用します）をさせていただいておりますので、ご協力をお願い致します。

次回のほほえみは、7/19（水）14時から16時まで

本館3階 特別会議室での開催となりますのでご参加下さい。

【がんサロン事務局より】

### 『がんは、お金がかかる病気』

（がん体験記）

自分ががんになって感じたことは、まず、簡単にあっさりとかん告知をされること。そして、がん告知を受けた衝撃で頭がぐちゃぐちゃなまま、がんの知識がないまま治療の選択肢を迫られること。さらに実際に手術、治療と進んでいくと、なんとお金がかかること――

治療費もそうですが、検査もけっこう高額。それらの費用を捻出するために、つらい体調で働いている……という話も少なくないようです。

私自身も治療の副作用で働くことができず、生活費はもちろん、治療費と検査代で預金は湯水の如く減っていきました。

「もう次の検査、受けられないな。治療も今月中止だな」と、治療自体諦めるところまで追いつめられた経験があります。

これだけ増えているがん患者。

「もう少し薬代安くないのかな……」と単純に思ってしまいます。

願いは、安価な薬（治療法）。

もっと言えば完治する薬（治療法）。

そして副作用のない薬（治療法）。

……なんて、夢のような話なのでしょう。

（北海道／女性／乳がん／がん患者本人）